

平成29年度病床機能報告結果(速報値)

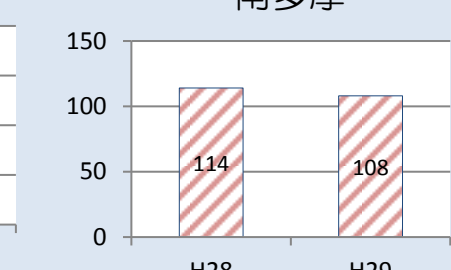
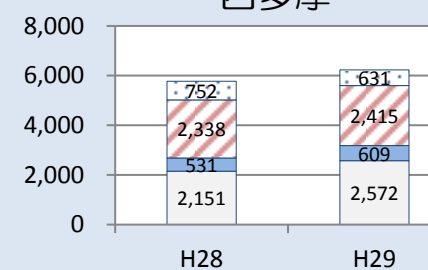
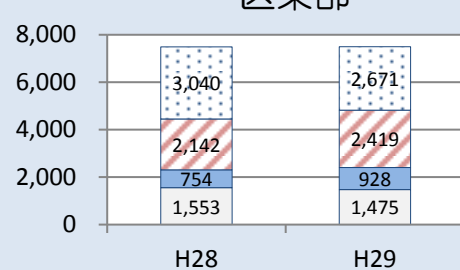
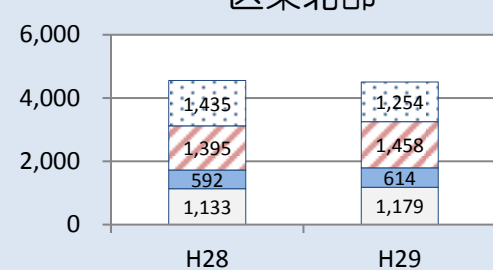
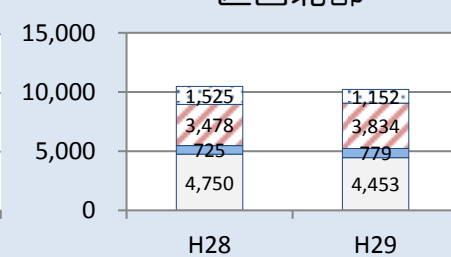
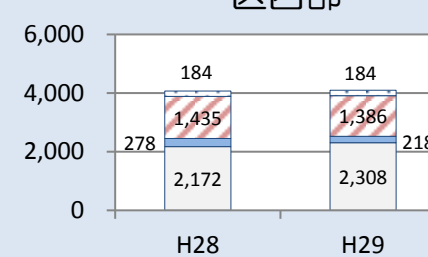
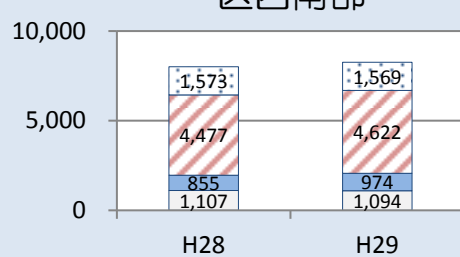
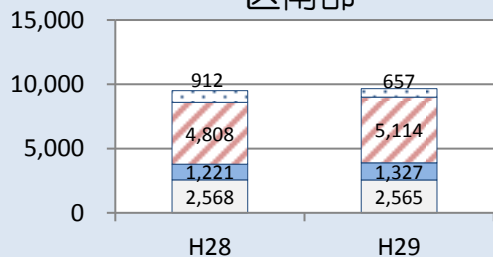
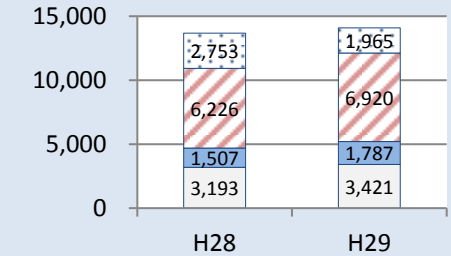
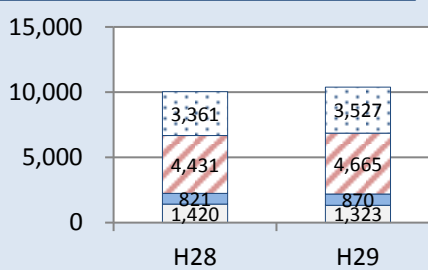
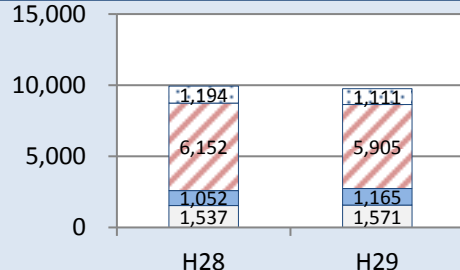
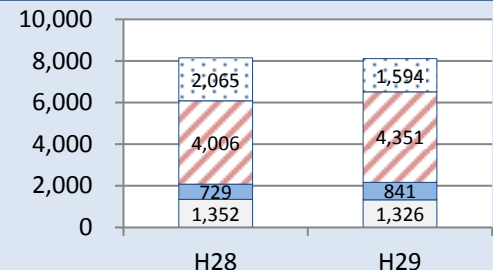
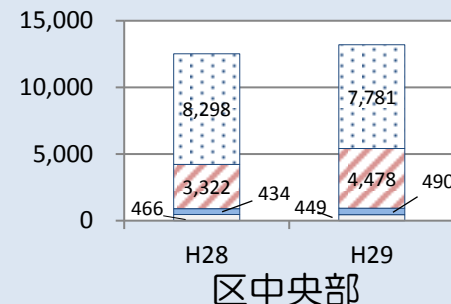
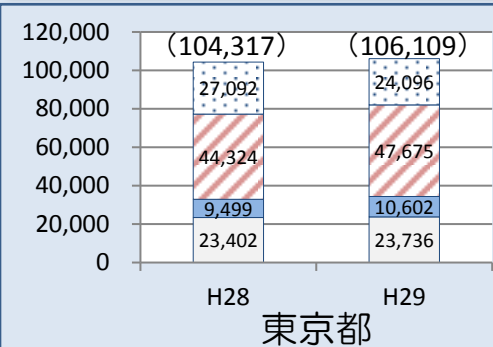
H28-29比較 <4機能別許可病床数>

凡例 □高度急性期 □急性期
 ■回復期 □慢性期

<結果の概要(東京都)>

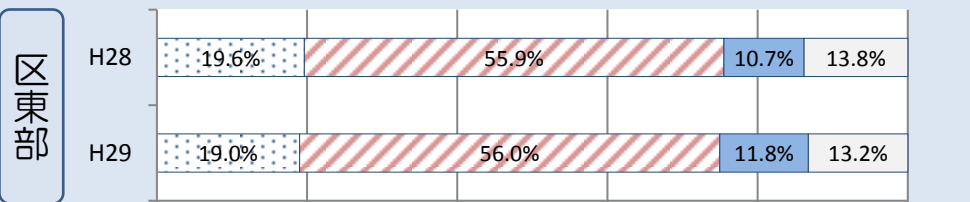
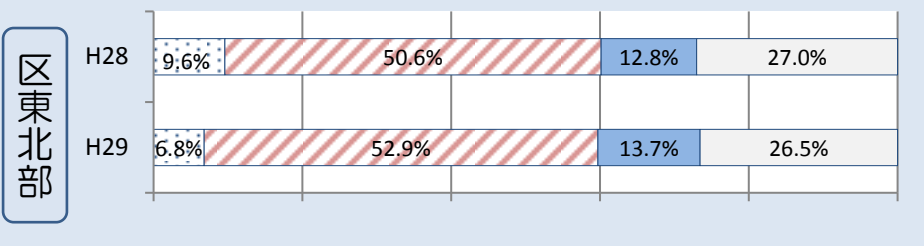
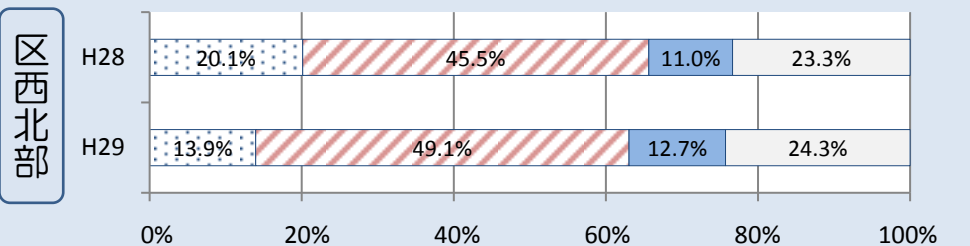
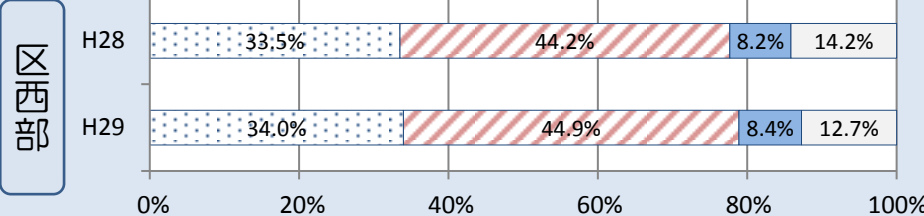
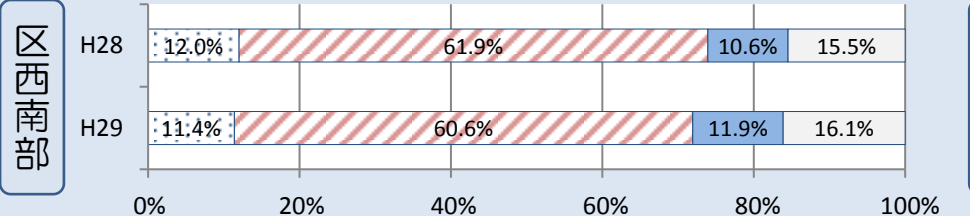
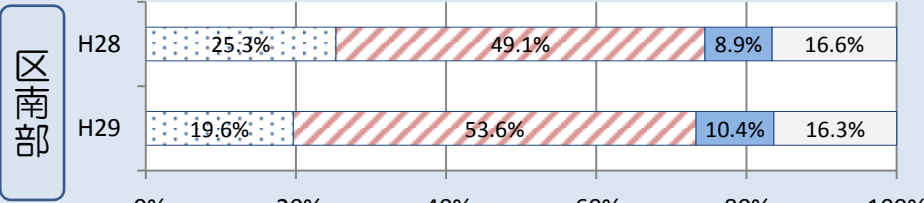
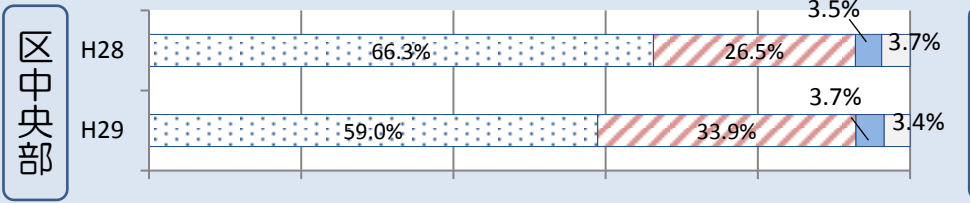
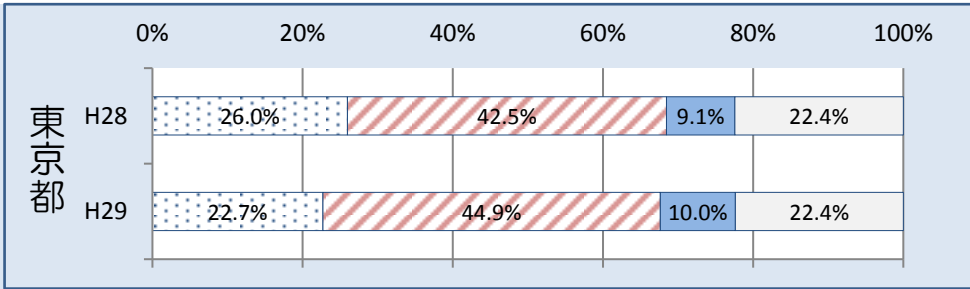
○平成28年度結果に比べ、病床数全体は、1,792床増

(機能別増減) 高度急性期機能 2,996床減
 急性期機能 3,351床増
 回復期機能 1,103床増
 慢性期機能 334床増



平成29年度病床機能報告結果(速報値)

H29-28比較 <4機能別許可病床数の割合/区部>

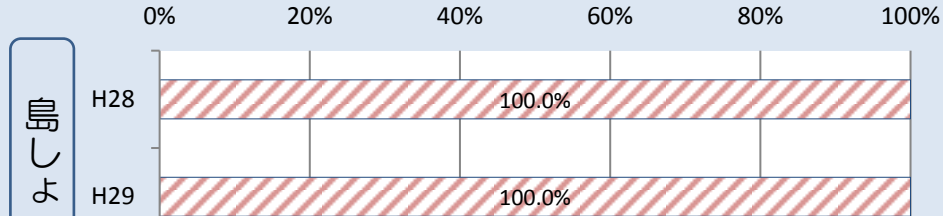
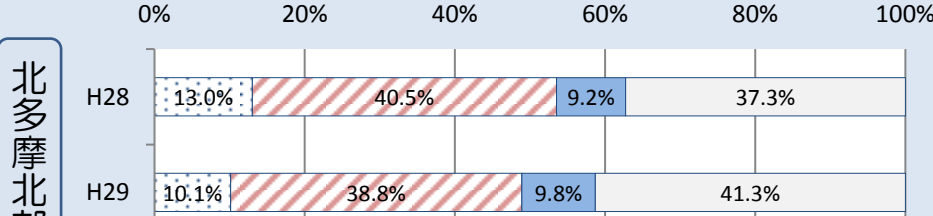
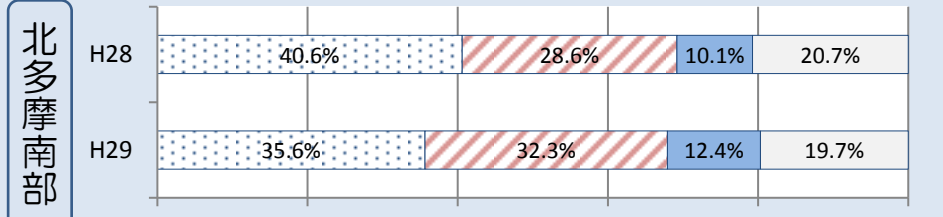
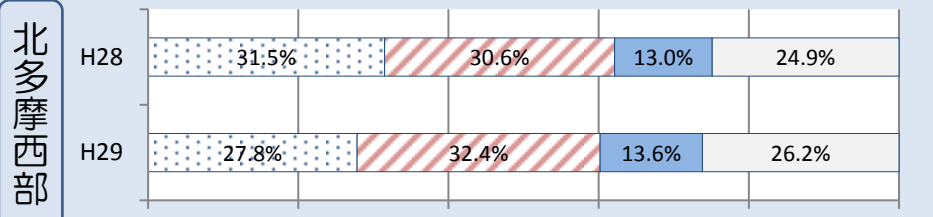
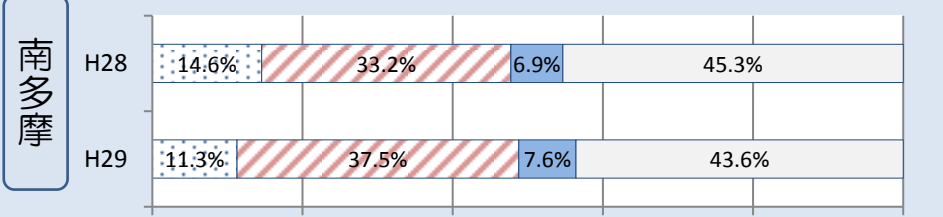
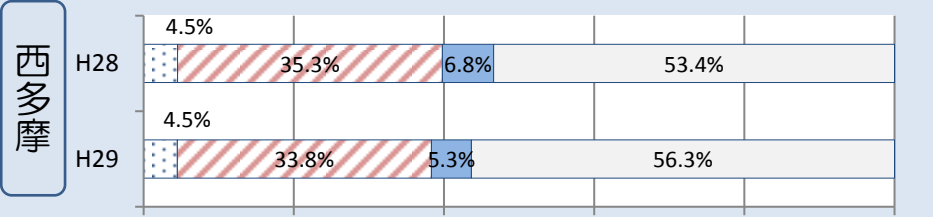


凡例

- 高度急性期
- 急性期
- 回復期
- 慢性期

平成29年度病床機能報告結果(速報値)

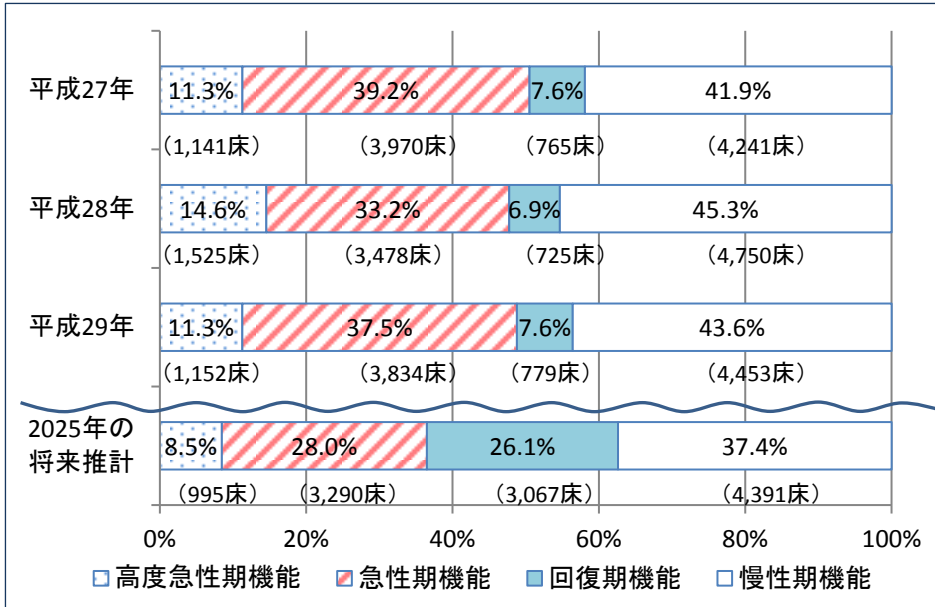
H29-28比較 <4機能別許可病床数の割合／多摩・島しょ>



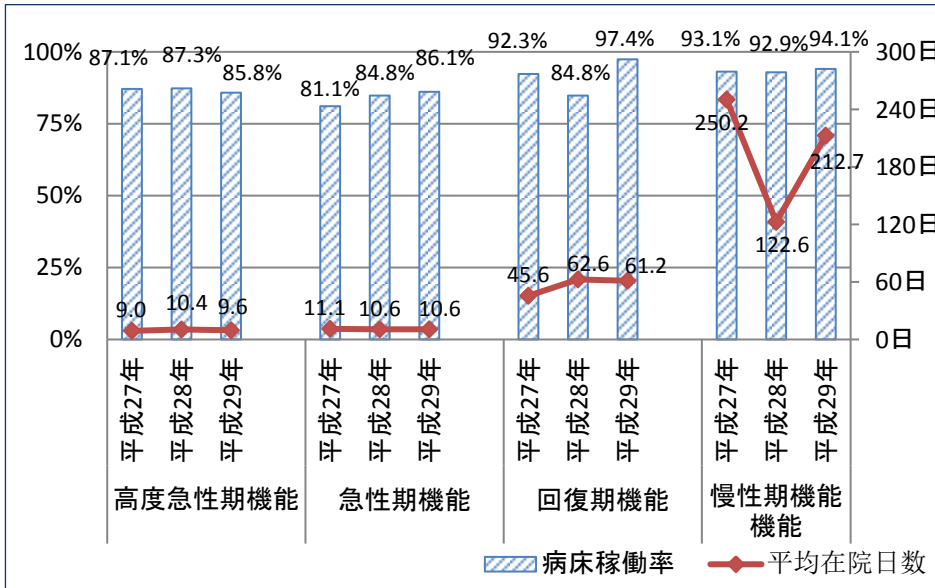
凡例

- 高度急性期 (dotted pattern)
- 急性期 (diagonal stripes)
- 回復期 (solid blue)
- 慢性期 (solid light blue)

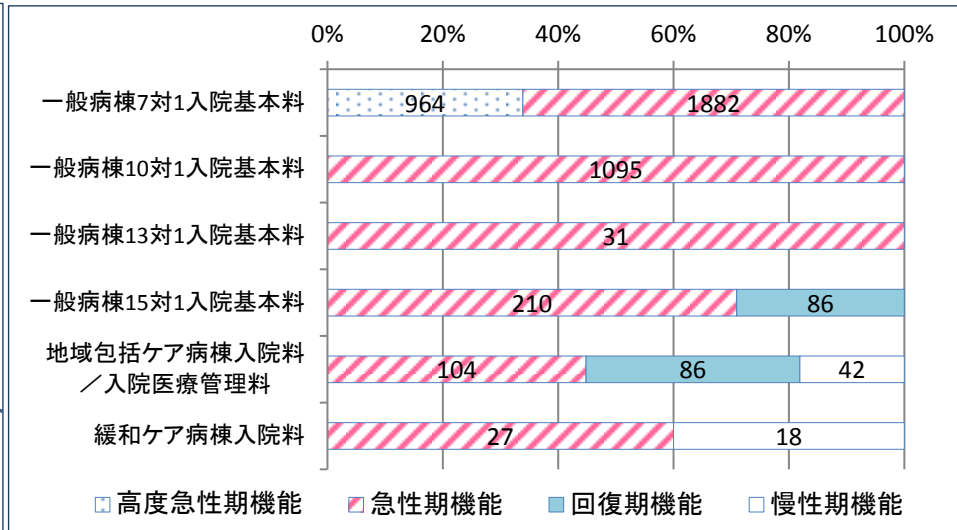
①4機能別病床数の推移(平成27年度～平成29年度)



②病床稼働率と平均在院日数の推移(平成27年度～平成29年度)



③入院料×機能



④退院後1ヶ月以内に在宅医療を必要とする患者の割合

	在宅医療を必要としない患者(死亡退院を含む)	自院が在宅医療を提供する予定の患者	他施設が在宅医療を提供する予定の患者	在宅医療の実施予定が不明の患者
高度急性期機能	1,316 52.5%	13 0.5%	34 1.4%	1,146 45.7%
急性期機能	6,142 90.4%	59 0.9%	260 3.8%	333 4.9%
回復期機能	148 44.2%	20 6.0%	95 28.4%	72 21.5%
慢性期機能	365 58.6%	92 14.8%	115 18.5%	51 8.2%

⑤退院調整部門を置いている病院の割合 61.0%(前年度53.3%)

- ①過去3か年で4機能別の報告割合に大きな変動がない。
- ②高度急性期機能以外で病床稼働率が上昇している。
- ③地域包括ケア病棟で、回復期又は慢性期機能と報告した割合が高い。
- ④回復期機能で、他施設で在宅医療を提供する割合と実施予定が不明の割合が高い。
- ⑤退院調整部門の設置割合が大幅に上昇したが、都平均に比べ低い。